パブリックコメント実施結果について

阿賀野市環境基本計画素案及び阿賀野市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)素案について、 意見募集を行った結果、3名の方からご意見をいただきました。

今回いただいたご意見の概要とこれに対する市の考え方を公表します。

- ○案件名 阿賀野市環境基本計画素案及び阿賀野市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)素案
- ○募集期間 平成25年2月22日(金)~3月8日(金)
- ○募集方法 市内自治会回覧文書および市ホームページに掲載し意見を募集しました。
- ○提出者数および内訳等

提出方法	提出者数	内訳(区分)	意見数
窓口	2	市内個人1、市内法人1	5
電子メール	1	市内個人 1	1
郵送	_		
ファックス			
計	3	3	6

■ご意見を反映し改めた当該計画案については、阿賀野市環境審議会の議を経て公表します。

No.	意見の概要	市の考え方
	<環境基本計画素案を読んでの意見>	[環境基本計画]
	豊かな自然環境の中で生活しているのかと思っ	ご意見とご指摘は謙虚に受け止め、ご指
1	ていましたが、阿賀野市の里山に一歩足を踏み入れ	摘事項は下段のとおり整理し、今後、環境
	ると「不法投棄」の多いことに驚きました。農道わ	施策や関係部署の施策において検討や対
	きの田んぼには、無数の空き缶のポイ捨てが後を絶	応を働きかけます。
	ちません。そこには生活の豊かさを追い続ける人間	よって、計画書上の具体的な修正等は特
	のエゴを感じます。	段ないものとし扱わせていただきます。
	夏に瓢湖に行くと異様な悪臭を感じます、年々そ	―指摘事項の列挙―
	の臭いが強くなっていくようです。そこにはソーラ	・不法投棄対策の強化
	ーパネルが浮かんで、あれで湖内を浄化しようと試	・瓢湖の水質浄化
	みているらしいが、「環境用水」という概念はとて	・環境用水の導入
	も素晴らしいと思います。	・行動計画(Eプロジェクト)の実践
	一度破壊された自然環境を取り戻すには多くの	・開発と保全の調和
	知恵と労力を必要とすると思います。	・雇用の創出と定住促進
	今回出された「阿賀野市環境基本計画・素案」は	
	大変素晴らしいと思います。そこにはいくつかの行	

動計画が盛り込まれ現実味を帯びています。

これ以上豊かな環境を壊さないで次世代にいつまでも引き継いでいきたいと強く思うことができます。とても素晴らしい「阿賀野市憲章」に匹敵する基本計画だと思います。

この阿賀野市で育ち生活していくことがいつまでもできるよう、開発や環境整備など行う上での目の肥えたフィルターになると思います。若い人たちが住み続けていけるよう、雇用の創出を盛り込んだ計画になってほしいです。

・「阿賀野市地球温暖化対策実行計画」について、 現状の記載が多く具体的な政策が分かりにくい と思いました。

2

・同上の冊子P21市民の意向調査アンケートは良かったが、その結果を受けての政策があると良かったと思います。

「地球温暖化対策実行計画」

具体的な政策については、今後、国が定める新たなエネルギー政策や、現在、見直しが進められている国・県の計画に基づき、市としての温室効果ガス削減目標を定めた上(現時点では、定量的な削減目標は定めません)で講じるのが適当と考えております。

なお、本計画は、市域から排出される温室効果ガス (CO_2) の排出量の現状把握と削減を目的に、総合的な施策を示したものであり、その施策としては、第2節から第4節に掲げております。

今後、市民・事業者・行政が一体となり 当該施策を進めることが大切と考えてお ります。

- ・「阿賀野市環境基本計画」のP9 [写真] 五頭山 の山並みとありますが、五頭山が分かりにくいと 思いました。
- ・同上の冊子基本計画素案でも現状の記載、着眼点 は良く分かりましたが、その具体的な政策案もあったほうが良かったのではないでしょうか。

「環境基本計画」

五頭山の山並みを表した写真は、五頭山 が分かりやすいものに差し替えます。

「環境基本計画」

具体的な政策については、本計画が、本 市における環境保全に関する施策を総合 的かつ計画的に進めるための基本的な計 画であり、その施策としては、第3章およ び第4章に掲げております。

今後、市民・事業者・行政が一体となり 当該施策を進めることが大切と考えてお ります。

第2節Eプロジェクト 第1五頭山プロジェクト (2)「五頭山」の位置づけ ⑤林産物生産及び新たなエネルギー創出の場について

「環境基本計画〕

ご意見とご指摘は謙虚に受け止め、今 後、環境施策や関係部署の施策において検 3 里山の森林を再生するには、森の資源を循環型利活用プロジェクトの構築が不可欠である。間伐材利活、ペレットの普及、端材エネルギーの普及、里地、里山の再生と地域の活性化が急務で、資源の放置の現況だと思います。行政、市民団体、企業が知恵と力と夢を持ち、目的を共有できる環境の構築が不可欠です。

討や対応を働きかけます。

また、森の資源(木材)が放置状態であることから各主体が連携のもと、資源の有効活用や目的の共有を図るべきとのご指摘は、五頭山プロジェクトの理念や記載内容の意とするところと同様です。

よって、計画書上の具体的な修正等は特 段ないものとし扱わせていただきます。

以上